題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
ろくろアート	小	グループ学習 低学年たんぽぽ （図画工作）	

＜ねらい＞
・筆を押しつけることによって、色や模様が描かれることに気付く。
・ペットボトルを振ることによって、水に色がつくことに気付く。
・できた作品の色や模様に注目して見る。

学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物
1　始まりの歌	・前に出て手をつなぎ、輪になり歌に合わせて手を振ったり、歩いたりする。	・顔を見合わせて友達や教師を意識するように誘いかける。
2　あいさつ	・指文字を出して「これから２時間目のたんぽぽグループを始めます。」と言い、礼をする。	・はじめにきちんとした姿勢を意識させる。
3　呼名	・したい児童から前に出てきて、回転椅子に座る。 ・歌いかけを聴いて気持ちを高め、呼名に手を上げて答える。 ・返事をした後、回転椅子を回してもらったり、動かしてもらったりすることを楽しむ。回転椅子で教師まで運んでもらい、ハイタッチをする	・歌いかけでしっかり気持ちを高めた後、名前を呼ぶようにする。返事には歌で答え、お楽しみの回転椅子遊びをする。最後には教師のところまで運んでもらい、各教師としっかり視線を合わせてタッチする。
4　ふれあい遊び	・ミックスジュースのうた りんご(すりすり)バナナ(トントン) いちご(つぶつぶ)ぶどう(ぎゅっぎゅっ) スイッチオン(へそ、ガタガタ)	
5　絵本 「ぐるぐるジュース」	・教師の読み聞かせを見聞きする。 ・「ポン！」では、投げるまねを模倣する。 ・「ぐるぐるぐる」では、指を回す模倣をする。 ・「ぴたっ」では、パーの模倣をする。	・読み聞かせを見ることに集中させる。できる児童には、模倣をするように促す。模倣が難しい児童は手をもって揺さぶったり止めたりして動きを伝える。
6　ジュースを飲	・ペットボトルについた果物を見	・見本で、しっかりペット

もう	て、好きな物を選ぶ。（イチゴ・ブドウ・バナナ・ミカン） ・ペットボトルを振り、水に色をつけ、色がついたことに気付く。 ・「かんぱい」を合図に飲む模倣をする。 ・色を選ぶ。	ボトルを振ると色が変わることを伝える。 ・「しゃかしゃかしゃか」「ぴたっ」の効果音を言って、動作を意味づける。
７　ジュースを作ろう	・筆に絵の具を含ませる。 ・回転している紙の上に筆やローラーを置いて模倣を描く。 ・描かれる模様に気付く。	・「今度は紙でジュースを作ろうね」と誘いかける。 ・「３，２，１」のかけ声に合わせてろくろと紙を回す。 ・紙の上にできる模様に注目させる。
６　鑑賞 ７　あいさつ	・できた作品を鑑賞する。 ・「これで２時間目のたんぽぽグループを終わります。礼」と言う。	・各自の頑張った所を発表する。

＜内容（工夫点など）＞

・「ジュースを飲もう」では、ペットボトルのふたの裏に絵の具をつけておくことによって、振ると透明の水に色がつくように工夫した。作った色水を透明のコップに入れさせ、乾杯させてジュースを飲む気持ちを高めた。

・「ジュースを作ろう」では、ろくろの上に丸い紙を置き、絵の具をつけた筆先をつけ、ろくろを回すことで、できる模様を楽しんだ。

＜良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）＞

・「ジュースを飲もう」では、振ることで色が変わることに気付くことができた。

・「ジュースを作ろう」では、ろくろが回ることで自然に模様ができるので、その変化に注目することができた。